

江戸川区で一番の心のこもったあいさつのできる学校

【学校経営の基本理念】

アントレプレナーシップの視点を活かした教育活動を推進する。生徒一人ひとりが、自ら考え、判断し、行動しながら、他者と協働し、よりよい未来を切り拓く力を育む学校づくりを実現する

【目指す生徒像】

- 自主自立した自分の想いを多様な表現方法で表現できる生徒
- 心のこもったあいさつができ、よく考え、人の気持ちを大切にできる生徒
- 力強く夢を語り、失敗を恐れず、前向きに歩み続ける生徒

【目指す教職員像】

- 自らの仕事に誇りをもったプロ意識の高い教職員
- 教職員が学び続ける姿勢を示し「自らの後ろ姿」で指導できる教職員
- 生徒の考えや行動を尊重し、任せ、見守る姿勢を大切にでき、結果だけでなく過程や努力を評価する視点をもった教職員

今年度の重点

(1) 主体的・対話的で探究的な学びの充実

- 各教科において、生徒が自ら問いをもち、考え、対話し、表現する学習過程を重視する。
- 探究的な課題や、思考、判断、表現する学習を通して、主体性を育成する。
- 生徒相互の信頼関係に基づく学び合い、高め合いが学力の向上に直結するという信念のもと教職員が研修を深め、生徒の学力向上を目指す。
- 年3回の全体研究会と年5回の授業研究会(計8回)を実施し、各教科での課題解決能力を育てる活動を取り入れた授業を行うための校内研修を通して、全教員が生徒の学びに向かう態度を見極める目を養い、誰一人取り残さない授業を追究する。

(3) 豊かな人間関係と安心できる学校づくり

- 週番活動や日常のあいさつ活動を重視し、自分から率先しておこなう気持ちの良いあいさつを通して、温かな空気感のある学校づくりを進め、互いに認め合う学校風土を全教職員で推進する。
- 生徒同士、教職員と生徒、その他保護者、地域、来校者に対して「心のこもったあいさつ」「返事」「丁寧な言葉遣い」を心がけ、愛される、応援される学校づくりを進める。
- 「考えさせる生活指導」、「考えさせる授業」等すべての教育活動において「考えさせる」指導の充実を図り、適切な選択のできる生徒の育成を図る。
- 「自立」と「主体性」を基盤に、生徒が安心して挑戦できる学級・学校運営を進める。
- 運動会や合唱コンクールの学校行事では、準備段階から本気で取り組ませ、「感動・感激」体験から母校愛を醸成する取組を全学級・学年で進める。
- 日常の教育活動や面談、および各部会や種運営チームを活用し、生徒一人ひとりの不安や悩みの把握に努める。また、SC、SSW、特別支援教室専門員、巡回指導員と十分に連携し、丁寧できめ細かな指導を組織的に進める。
- 「考え、議論する道徳」を通して、自他の違いを認め、相手を尊重する思いやりの心情を基盤に①チャレンジ精神 ②コミュニケーション能力③判断力・選択能力を指導の重点として育成する。

(2) アントレプレナーシップの育成

- 学校生活全般を通して、課題発見、課題解決の過程を大切に試行錯誤や失敗を学びにつなげる指導を行う。
- 総合的な学習の時間や行事を通して、探究のプロセスを重視する。

(4) 教職員の提案型を重視した「新たな発想の実現」を推進

- 前年踏襲ではなく、生徒にとって学校にとって良いと思われるものは、他の教職員と連携および共有を図りながら、積極的に提案できる職場の雰囲気を醸成する。
- 年齢や経験だけが重要なのではない。経験の浅い教員や、若手教員からの良いと思われる提案には、主幹教諭、主任教諭が後押しをして積極的な提案を形にする努力をし、その実現を図る。
- 会議で決まった決定事項については、それに向けて全力で取り組む組織体の実現を図る。

(5) 令和8年度コミュニティスクールの推進

- 年6回の学校運営協議会を実施し、学校運営について地域の協力者の方々に広く知ってもらい、メンバーが一人の職員として携わっていくような組織づくりを行い、教職員と連携を図りながら学校運営の改善と教育の質の向上を図る。
- 地域やその他から幅広く人材を確保し、生徒が本物に触れる機会を創出する。
- 民生児童委員に協力していただいている3年生の面接指導練習を継続実施していき、そこに学校運営協議会のメンバーを加え、地域の方にも生徒の様子について理解していただくとともに、生徒のキャリアアップの一助となるような取り組みを推進する。

二之江中学校の教員として

実践すること

- 一人で抱えず、チームで対応すること(情報の共有 風通しの良い職場づくり)
- 生徒に指導することは自らもきちんとすること(プロの教職員としての自覚)
- 会議で決まったことは進んで全力で取り組むこと
- 前年踏襲ではなく、生徒の実態を見て工夫、改善をして積極的に提案すること
- 関わるすべてにおいて誠実に丁寧に対応すること(生徒、教職員、地域、保護者、来校者)
- 健康が第一。効率の良い仕事、必要な休暇をきちんと取ることを大事にすること
- 服務事故を絶対に起こさないこと(個々のプロ意識と風通しの良い職場づくり)
- 生徒を認め励まし、自分の所属している場所が好きになるように指導すること